

杉並区教育委員会 宛

子供園名 杉並区立下高井戸子供園

子供園長氏名 原 麻弓

令和8年度教育課程について（届）

このことについて、杉並区立子供園の管理運営に関する規則に基づき下記のとおり
お届けします。

記

1 教 育 目 標

(1) 子供園の教育目標

“しあわせいっぱいの子供園”にするために、次の教育目標を掲げる。

もりもりそだつ げんきなからだ
たいせつな なかまとじぶん
かんじる こころとあたま

(2) 子供園の教育目標を達成するための基本方針

- ① 心も体も弾む体験を積み重ね、体を動かす気持ちよさや楽しさを感じ、健康で安全な生活を送ることができる幼児を育てる。
- ② 他の幼児とのかかわりを通して、自分と他者との違いに気付き、互いに認め合い、異なる思いや考えを受け入れ合おうとする幼児を育てる。
- ③ 身近な環境に自ら関わって遊ぶことを通して、知的好奇心や思考力の芽生えを培い、遊びの主体者として夢中になって遊ぶ幼児を育てる。
- ④ 仲間と協同して遊びや生活を進める中で様々な感情体験を重ね、一人では味わえない達成感を感じたり、課題を解決していこうとしたりする幼児を育てる。
- ⑤ 子供園と小学校が互いの教育内容や方法、子どもの育ちに関する理解を深めて交流活動を推進するとともに、小学校以降の学びや生活の基盤を育成し、幼児の小学校生活への期待を高める。

2 指導の重点

(1) 教育課程編成、実施に関わる指導の重点

① 3歳児

- ・教師との信頼関係を基盤に、自分のしたい遊びを見つけ、夢中になって遊ぶ楽しさを味わえるようにする。
- ・基本的な生活習慣を身に付け、一人ひとりの幼児が安心して過ごせるようにする。

② 4歳児

- ・友達や教師と一緒に過ごす中で、感じたことや考えたことをのびのびと表現し、興味、関心を深めながら夢中になって遊ぶ楽しさを味わえるようにする。

③ 5歳児

- ・共通の目的に向かって考えを出し合ったり協力したりしながら夢中になって遊ぶ中で、友達とのつながりを深め、自分たちで遊びや生活を進める充実感、達成感を味わえるようにする。

(2) 環境の構成

- ・幼児が自ら選んで環境に関わり夢中になって遊ぶ楽しさを味わえるように、保育室や自然物も含めた園庭環境が、幼児の実態に即し、知的好奇心や探究心をくすぐる魅力的なものとなるように工夫する。
- ・幼児が思いや考えを表現したり他の考えを受け止めたりする機会を意図的に取り入れ、他者との対話的な関わりを十分に経験できるようにする。
- ・遊びや園内外での行事等、他者との共通体験を豊かなものにし、個々あるいは友達との遊びに生かされたり、学級全体の活動に展開したりする遊びの往還をすすめる。
- ・ICT機器や視聴覚的教材の活用方法や教育的な効果について教師自身が理解を深め、幼児の直接的で具体的な体験を豊かにするために活用する。

(3) 特に重点を置いて指導する内容等

① 安全教育

- ・学校安全計画を基に、幼児の園生活に即した生活安全、交通安全、災害安全における指導を実践し、幼児が自ら安心・安全について考えて行動し、自分自身と周りの人の心身の安全を守ろうとする気持ちの基礎を培う。

② 特別支援教育

- ・園長が主催する園内委員会の実施を通して、幼児の具体的な姿から環境・援助の在り方を見直し、全職員で共有する。また、特別支援教育コーディネーターを中心として家庭や関係諸機関と連携し、多面的な幼児理解をもとに、環境構成と援助を工夫し、幼児が育ち合う学級づくりを推進する。

③ その他

- ・昨年度までの教育課題研究の学びを生かし、今年度は自然との関わりを通して幼児が夢中になって遊ぶための環境の在り方について、教師自身が主体的・探究的に学びを深め、実践に取り入れることで幼児の遊びと生活の充実を図る。
- ・長時間保育児が一日を通して安心して過ごせるよう、幼児の心情に寄り添った関わりや実態に応じた環境構成を工夫する。学級担任と長時間保育担当を中心に教職員間の情報共有を徹底することで、保護者への対応が信頼されるものとなるようにする。